

## カーボンニュートラル実現ビジョンの公表について

石油鉱業連盟（以下「当連盟」）は、2021年3月に公表したカーボンニュートラル社会実現に向けた「気候変動対応ビジョン」を改訂し、「カーボンニュートラル実現ビジョン」として新たに公表しましたので、お知らせいたします。

今回の改訂では、当連盟のカーボンニュートラル実現に向けた基本方針を改めて示すとともに、会員企業の具体的取組み事例を分野別にとりまとめました。その結果明らかになったことは、

- ① 全ての会員企業が2050年の目標としてカーボンニュートラルを設定し、そのマイルストーンとして2030年の温室効果ガス排出削減目標を設定していること、
- ② 今回の「カーボンニュートラル実現ビジョン」に掲載した会員企業の具体的事例は合計71件と、初版（19件）と比較して3倍以上増加しており、会員企業のカーボンニュートラル実現に向けた取組みが加速していること、
- ③ 分野別に特に増加した取組みとして、CCSが初版より14件増加しており、このうちEOR/EGR（Enhanced Oil/Gas Recovery：石油/ガス増進回収法）を除く単独CCS事業の増加件数が13件となっている。また、水素・アンモニア関係は11件増加、メタネーションやSAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）等のカーボンリサイクル関係は9件増加とそれぞれ大きく増加していること、
- ④ 具体的な事例の多くは、国内関係企業や、海外企業との連携により進められていること、などです。

当連盟は、CCSの社会実装を牽引する決意を固め、連盟内にCCSタスクフォースを設置し政府・関係業界とともにCCSの実用化に向けた取組みを推進しており、今後とも政府、国内・海外の関係企業と連携しながら、エネルギーの安定供給に加え、カーボンニュートラル社会実現に向けて邁進していく所存です。

当連盟は「カーボンニュートラル実現ビジョン」に示した取組みを着実に進めつつ、地球規模のカーボンニュートラルの実現に貢献し、第6次エネルギー基本計画で記載された脱炭素燃料・技術の供給等におけるメインプレイヤーとしての期待に全力で応えていきます。

今般、「わが国石油・天然ガス開発の現状と課題」を刊行しましたので、併せて配布いたします。

以上

- ・ [添付資料1.：「カーボンニュートラル実現ビジョン」](#)
- ・ [添付資料2.：「わが国石油・天然ガス開発の現状と課題」](#)

【お問い合わせ先】石油鉱業連盟 総務部（牛久・江森）

TEL：03-3214-1701

FAX：03-3214-1703